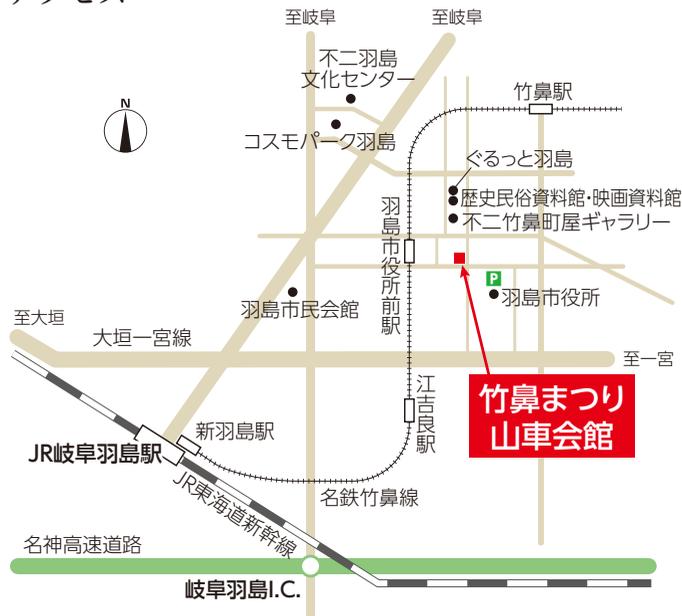


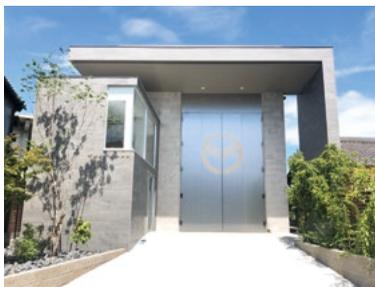
## アクセス



- ◆名鉄竹鼻線「羽島市役所前駅」下車、徒歩約3分
  - ◆名神高速道路「岐阜羽島IC」から車で約6分
- ※お車で越しの方は、羽島市役所駐車場をご利用ください。

## 竹鼻まつり山車会館

- 入館料：大人300円・団体(10人以上)250円  
(中学生以下無料)
  - 開館時間：9時～16時
  - 休館日：月曜日(祝日を除く)、祝日の翌日、  
年末年始
- ※山車入れ替えに伴う臨時休館あり。



お問い合わせ

〒501-6241 羽島市竹鼻町3062番地3 TEL:058(392)5115

岐阜県指定重要有形民俗文化財「竹鼻祭の山車」

# 竹鼻まつり山車会館



## 竹鼻まつり山車会館

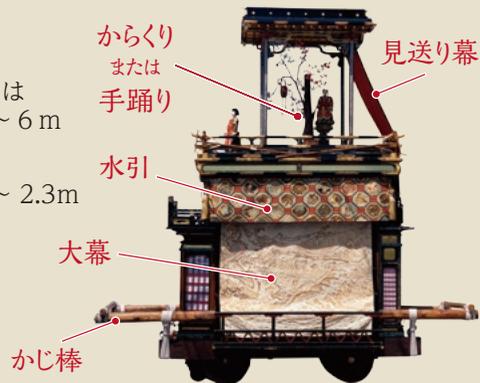
令和2年10月にオープンした当館は、歴史的に由緒ある竹鼻まつりで曳かれる山車を展示し、郷土の伝統や文化を紹介する観光施設です。

館内には実物を展示。竹鼻まつりの祭礼当日さながらに、金や銀、色糸などで装飾が施された豪華な幕類や、町内の曳行には欠かせない「かじ棒」なども取り付けられ、春を待たずに竹鼻まつりをご堪能いただくことができます。



山車の高さは  
約4.8m～6m

間口(幅)は  
約1.8m～2.3m



## 竹鼻まつりの由来と変遷

竹鼻の氏神八剱神社の祭神は日本武尊（やまとたけるのみこと）。天正9（1581）年、竹ヶ鼻城主不破源六により居城の守護神として現在地に遷座されました。

竹鼻まつりは同神社の例祭で、江戸時代から明治の中期までは、実りの秋に行われていましたが、周辺の村まつりと重なるため、明治35（1902）年から春に変わり、戦後、国の祝日に合わせて本楽を「こどもの日」の5月5日とし、さらに大型連休の初日5月3日となりました。

まつりを飾る山車は全13輛。そのうち、濃尾大震災の焼失を免れた約半数の山車は、宝暦から天保年間製作のもので、大垂れ幕類は鮮明な織りで、からくり人形も精巧を極め、全面が岐阜県の重要有形民俗文化財に指定されています。

まつりの当日には、半数ずつ隔年で交互に町内の曳行が行われていましたが、平成28（2016）年からは残りの半数の山車についても町内各所に展示されるようになりました。

## 各町の山車

宮町



大西町



上鍋屋町



下鍋屋町



川町



下城町



上城町



福江町



新町



中町



本町



上町



今町

